

2・3面 新春特別対談
岸まきこ参議院議員×松村委員長
新春クロスワードパズル
4面 第27回ベストショットコンクール

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 発行
企画 総務局
責任者 松村 誠治
編集者 須崎 崇文
1部10円(但し組合員は組合費に含む)



「彩華繚乱」

練馬区職労

小城原 淳さん

ネイチャー部門

(選評は4面に掲載)



新年のごあいさつ



自治労東京都本部
中央執行委員長

松村 誠治

継続的な賃上げと、働くもの・生活者に寄り添う政治への転換をめざして！

新年あけましておめでとうございます。旧年中のご支援・ご協力に心から感謝申し上げますとともに、住民のいのちと暮らしを守るため、日々ご奮闘いただいている組合員の皆さまに心から敬意を表します。

2024賃金確定闘争は、春闘における連合、民間労組のたたかひの成果により、月例給・一時金ともに3年連続での引き上げとなりました。しかし、その内容は春闘の引き上げ率を下回り、物価上昇率にも遠く及ばない低額・低率であり、実質賃金の改善には至りませんでした。しかも、初任給と若年層に重点的に配分されたことから、中高年齢層については、極めて低い賃上げ率となり不満が残るものでした。一方で、長年要求し続けてきたことが、ようやく実を結び「再任用職員の一時金について常勤職員同様の支給月数」「地域手当の引き上げ」「会計年度任用職員の報酬額について常勤職員同様の改定時期や雇年限の撤廃」などを勝ちとることができた単組もありました。改めて、粘り強く要求し、交渉し続けることの大切さを実感するものでもありました。

2025春闘においては、四半世紀に及ぶ慢性的なデフレ状態から完全に抜け出すためにも、物価上昇を上回る賃上げによって個人消費を活性化させ、賃金と物価が安定的に上昇する好循環につなげなければなりません。そして、その春闘の成果を秋の賃金確定闘争に波及させていくことが重要です。引き続き、連合に結集し、民間の仲間のみならずとも、継続的な賃上げを求めていきます。

これまでの政治情勢は、数の力を頼りに国会の議論さえも軽視する強権政治が続いてきましたが、第50回衆議院選挙では、自公政権を過半数割れに追い込み、緊張感のある政治を実現することができました。今後は、熟議の政治を取り戻し、政権交代を展望しながら、働くものや生活者に寄り添う政治へと転換させなければなりません。

今夏の第27回参議院議員選挙にむけては、「岸まきこ」参議院議員を再び国政の場へ送り出し、公共サービスの現場最前線で働く私たちの声を、国政に反映させることが重要です。岸まきこさんの必勝をめざし、ともにたたかひを進めましょう。

本年も、組合員の皆さんとともに、賃金労働条件の改善、平和と民主主義を守り、共生社会の実現へむけて、全力で奮闘していく決意を表明して、新年のあいさつとさせていただきます。ともにがんばりましょう。



2025年新春特別対談企画

岸 まきこ × 松村 誠治

組織内参議院議員 都本部委員長



都本部中央執行委員長
松村 誠治
(まつむら せいじ)
自治労東京都本部中央執行委員長、葛飾区職労委員長、都本部副中央執行委員長(労働局長兼務)などを歴任し2023年より現職。

松村 社会に不満が募る一方、若年層の方を中心に政治に関心がな... (text continues)

松村 知り得た情報を... (text continues)

松村 知り得た情報を... (text continues)

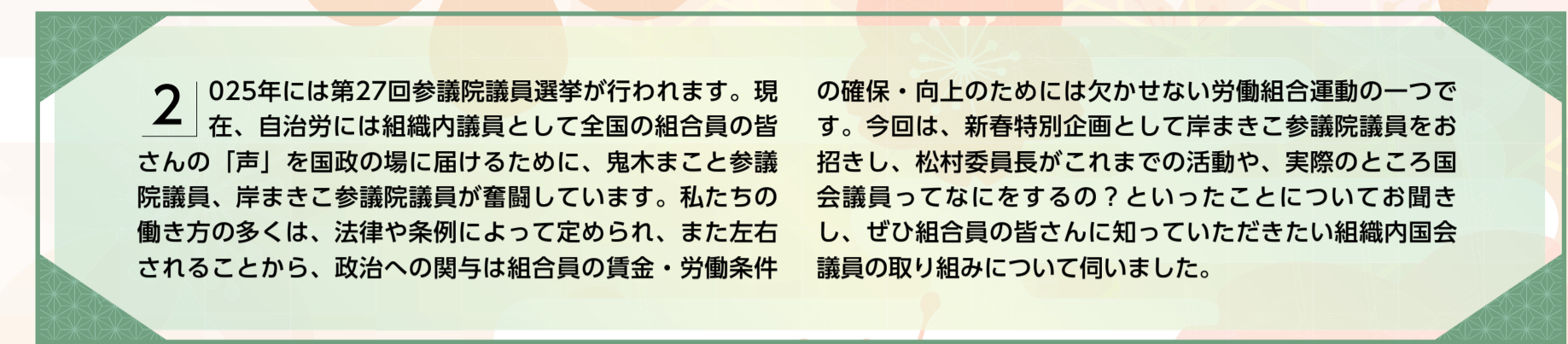
松村 知り得た情報を... (text continues)

松村 社会に不満が募る一方... (text continues)

松村 知り得た情報を... (text continues)

松村 知り得た情報を... (text continues)

松村 知り得た情報を... (text continues)



松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)

松村 切り替えが早い... (text continues)



自治労組織内参議院議員
岸 まきこ
(きし まきこ)
1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員長。19年第25回参院選(全国比例区)で初当選。現職に至る。

松村 2024年の活動... (text continues)

松村 2024年の活動... (text continues)

松村 2024年の活動... (text continues)

松村 2024年の活動... (text continues)

松村 2024年の活動... (text continues)

松村 2024年の活動... (text continues)

2025 新春 クロスワードパズル

タテ・ヨコのカギをヒントにパズルを解き、A~Gの文字をつないでできる言葉を答えてください。

1	2	3	4	5	6
	7	E		8	
9		10	11		12
	F				A
13	14		D	15	16
					G
17	18		19		
			B	23	24
20	21		22		
					C
25	26	27			
28			29		30
		31			32

★カタログギフト (14,000円相当) 5名
★商品券 (5,000円分) 40名

締切2025年1月29日※



第27回 ベストショットコンクール



講評

部門1 一般部門(テーマ「喜び」)

部門2 ネイチャー部門

写 真の面白さはどこにあるのだろうか? 今回の審査を終えて考えていたことです。

一般、ネイチャー、それぞれの部門に特徴がありました。まず、一般部門は残念ですが応募枚数がちょっと少なかったです。テーマが限定されると、「この写真がこのテーマに合っているだろうか」などと考えてしまうのかもしれませんが、あまり窮屈に考えず、テーマと少しずれていても良い写真だと思ったら思い切って応募してください。その辺の最終的判断は私たちがします。また、全体の印象としては身近なものを撮影している写真がもっと多くても良いかなと感じました。写真は特別な出来事があると撮ることが多いと思います。一般部門では旅先やお祭りなどの特別なことだけでなく、日常でのちょっとした特別なことを撮影した写真を見たいと思いました。次に、ネイチャー部門ですが、こちらは例年と変わらぬ応募枚数でした。そして、スマホではなくデジカメで撮影された写真が多かったです。この部門に応募される方は、本格的に写真に取り組んでいる方が多く、質の高いイメージを追求し、撮影している作

品の数々でした。そのため、選考はいつも悩みます。それぞれ理想とするイメージを追求し質の高い写真を撮影してください。

さて、最初の問いの答えは? それは撮影した世界をあなたが実際に経験しているということだと思います。バーチャルが幅を利かせる昨今ですが、写真は基本的には現場に行かなければ撮れないということです。そこで得た実感はあなただけのものです。



●各受賞作品の選評はHPにて

写真家 鈴木 邦弘さん

雑誌を中心にフリーの写真家として活動。『自治労通信』および『世界』などにドキュメンタリー写真を発表。93年「森の人・PYGMY」で第18回伊奈信男賞を受賞。日本写真芸術専門学校主任講師。日本写真家協会(JPS)会員。



最優秀賞 選評

「彩華繚乱」

ネイチャー部門

練馬区職労 小城原 淳さん
選評 ● 横浜みなとみらいでの花火大会でしょうか。同時に打ち上げられた花火の数の多さとその美しい風景に感動といたいところですが、この写真のポイントは下部に写されている立錐の余地のない人々の様子です。手に手にカメラやスマホを持つ人たち、三脚、一脚にカメラを据え本格的に撮影する人たち、無数に光るカメラのモニターの明かり。そして縦位置(メリーゴーランドのような余計なものを入れない)。通常の花火の写真とは異なり、ドキュメンタリー的な要素を持つ作品になっています。



「こりやたまらん」
一般部門 喜び
新宿区職労 関根 康幸さん



「歩いてきた道を振り返る」
ネイチャー部門
江戸川区職労 田淵 美香さん

佳作

「生まれてきてくれてありがとう!」
一般部門 喜び
小金井社協労組 坪根 愛さん



佳作

「寒風を切る」

ネイチャー部門

町田市職労 守屋 涼さん



佳作

「近所総出」

ネイチャー部門

東交 巣鴨支部 前場 晃さん



特別賞

「初めての体験」

一般部門 喜び

東交 深川支部 戸高 弘貴さん

